

2020年6月5日

株式会社メドレー

メドレー、順天堂大学が実施するオンライン診療に関する 厚生労働科学特別研究事業に参加

～「CLINICS オンライン診療」を活用する医療機関が研究に協力～

株式会社メドレー（本社：東京都港区、代表取締役医師：豊田 剛一郎、代表取締役社長：瀧口 浩平、以下「メドレー」）は、順天堂大学革新的医療技術開発研究センターが令和2年度厚生労働科学特別研究事業として実施する「高血圧外来におけるオンライン診療の有用性:クラスターランダム化比較試験」（以下「本研究」）に参加いたします。

メドレーは、「CLINICS オンライン診療」を活用して高血圧患者の診療を行っている医療機関と連携し、円滑な研究の推進を支援してまいります。

■本研究について

【研究テーマ】

「高血圧外来におけるオンライン診療の有用性:クラスターランダム化比較試験」

【実施期間（予定）】

2020年5月29日～2021年3月31日

【研究実施機関】

「CLINICS オンライン診療」を利用している一般診療所

【研究代表者】

順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター 准教授 西崎 祐史 氏

【実施背景と目的】

高血圧は、糖尿病や喫煙と並び、生活習慣病に伴う死亡に影響を与える因子の一つです。外来通院を基本とする高血圧治療ですが、急速に進行する高齢化などによって、近い将来、外来通院困難な高齢患者が増加することが予想されます。その対策としては訪問診療という手段も考えられますが、急速に拡大する高齢者医療を全て支えられるほど、現時点での在宅医体制は充実しているわけではありません。そのため、可能な限り外来通院の負担を減じる対策を講じる必要があり、その対策の一つとしてオンライン診療が考えられます。しかし、高血圧は、2020年度診療報酬改定においてオンライン診療料の対象となっているものの、保険による診療では基本的に3ヶ月に1回の対面診療が要件となっています。そこで、本研究によって、現在「オンライン診療料」の算定要件の一つである3ヶ月に1回の対面診療の必要性について検証し、今後の診療報酬要件の検討に資するデータ創出を目指します。

■「CLINICS（クリニック）」について

離れた場所にいる医師と患者をビデオチャットでつなぐ「オンライン診療・相談」をスムーズに実施するための各種機能を備えた、利用医療機関数 No.1 のオンライン診療システムです^{*}。2016年2月の提供開始以降、全国の診療所や大学病院などで幅広く導入されています。

<https://clinics.medley.life>

※出典元：「2020年版 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.1 医療IT・医療情報プラットフォーム編」（富士経済社、2020年1月7日）

■株式会社メドレー 概要

代 表 代表取締役医師：豊田 剛一郎、代表取締役社長：瀧口 浩平

所 在 地 東京都港区六本木 3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー22F

U R L <https://www.medley.jp>

■株式会社メドレーについて

メドレーは、エンジニアと医師・医療従事者を含む開発チームを有し、「医療ヘルスケアの未来をつくる」というミッションのもと、インターネットサービスを提供しています。現在、より良い医療・介護の実現に向けて、以下のサービスを展開しています。

患者向け「オンライン診療アプリ CLINICS」 <https://clinics.medley.life>

医療機関向け「クラウド診療支援システム CLINICS」 <https://clinics-cloud.com>

医師たちがつくるオンライン医療事典「MEDLEY」 <https://medley.life>

医療介護福祉の人材採用システム「ジョブメドレー」 <https://job-medley.com>

医療につよい介護施設・老人ホームの検索サイト「介護のほんね」 <https://www.kaigonohonne.com>